

平成 18 年度第 3 回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時, 会場

- 平成 19 年 1 月 17 日 (水) 18:30~20:30
- 宇品老人いこいの家 3 階会議室 (南区宇品御幸四丁目)

2 出席者

- 会長他 10 名出席 (5 名欠席)

3 議事要旨

(1) 協議会の進行

- 平成 18 年度第 2 回協議会の議事概要の確認
- 出島地区港湾整備事業環境監視結果 (工事着手後) 及び周辺環境の事前調査結果 (平成 18 年 10 月調査) の報告
 - ・ 工事中の環境監視結果では, いずれの項目においても周辺環境への影響は認められていない。
 - ・ 前回, 施工区域周辺の水質(SS)が南側の地点で, 監視基準値以下ではあるが若干高い数値が観測されたことについては, 処分場建設工事における床掘工, 浚渫工の影響によるものと考えられる。
 - ・ 濁りがカタクチワシに与える影響について, 広島大学, 県立水産海洋技術センター, 独立行政法人水産総合研究センターの専門家に意見を伺ったが, 濁りがカタクチワシに与える影響についての研究例, 因果関係を示すデータはないとのことであった。
 - ・ カタクチワシが出島周辺に接岸していなかったことが事実としても, 様々な自然環境の変化等の要因が考えられ, 工事の濁りだけが直接の原因であると断定することは難しい。
 - ・ 周辺環境事前調査結果では, 過去の調査結果と同程度であり特に異常はない。
- 遮水シート材料試験結果の説明
 - ・ 搬入前及び施工中の遮水シート及び保護マットの材料試験の結果, 引張り強さや伸び率等の基本特性値はすべての項目とも基準値及びメーカー保証値を満足している。
- その他
 - ・ 第 3 工区の終了時期については, 経済状況の変化により土地需要が望めないことなどから, 現時点では明確な回答ができない。
 - ・ 揚陸施設的设计については, 詳細設計ができた段階で協議会で説明する。
- 次回協議会の開催の調整
 - ・ 次回の協議会は 3 月開催予定で管理型処分場の視察を検討しており, 後日日程調整を行う。

(2) 発言要旨

- 出島地区港湾整備事業環境監視結果 (工事着手後) の報告
 - ・ 濁度から SS への換算式は現場での測定結果を基に決めたのか。
 - 出島処分場建設工事現場で実際に床掘りする場所の土を採取し, 試験した結果を基に換算式を決定した。

- ・専門家から濁度以外にカタクチイワシに影響を与える他の要因について何か示唆されたものがあったか。
 - 特になかった。
- ・意見を聞いた専門家は誰か。
 - 広島大学の松田名誉教授，県立水産海洋技術センターの安江部長，相田副主任 研究員，独立行政法人水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所の薄(うすき)室長，重田研究員である。

○遮水シート材料試験結果の説明

- ・遮水シートの試験結果で遮水性の数値が搬入前と施工中で違うのはなぜか，資料がわかりにくい。
 - 測定できる限界付近の値であり，ロット差及び測定誤差と考えられる。資料をわかりやすくして次回協議会で報告する。
- ・遮水シートは何年もつのか。
 - 遮水性能が何年経過したら劣落するかは，処分場の供用開始後，毎年遮水シートの試料片を検査してモニタリングしていく。

○その他

- ・工事内容の周知方法について，委員の皆様の意見を伺いたい。
 - ・現段階では現状の町内会による回覧形式で不満は出ていない。マンション単位で個別にすることになると逆に混乱する。特別なことがある場合は，別に周知あるいは報告してもらう必要はある。
 - ・ベイサイドマンションに回覧する部数を増やせば，周知も徹底できるのではないかと思う。
 - ・特にベイサイドマンションからは工事が目に入り，今何の工事をしているのかよく聞かれるので，掲示できる資料をいただきたい。
 - ・広島市としてはアセスの時も許可の時も，情報を皆さんに提供するように附帯意見を出している。それを踏まえて事業者として，工事内容が変わった時や節目節目で情報提供をしてもらいたい。
 - ・回覧形式だと途中でなくなって回ってこないということもある。掲示方式の方が枚数が少なく済むし，知りたい人はそこへ行けば見ることができる。
 - ・難しい問題である。周知を徹底するのにこれならという決め手はない。
 - ・区民だよりなどに載せるという方法もあるのではないか。
- ・分からないことがあったら港湾振興局に電話をしてもらいたい。
- ・どのような形で周知するかは再度検討する。
- ・今の工事内容を教えてもらいたい。
 - 遮水シートの延長工事を行っている。
- ・3工区の埋立て期間は10年を基準として考えてもらいたい。経済性だけの問題で10年が20年，30年と延びていくことは，地元はその受忍限度を強要するということがある。
- ・3月には平成19年度の工事スケジュールは説明していただけるのか。
 - 3月末には来年度の工事内容について提案させていただくことは可能である。

- ・五日市の積出施設が全然進んでいないと聞いた。今後、五日市の情報についても提供してもらいたい。
→ 情報提供させていただく。

4 会議資料の資料名一覧

- ・会議次第
- ・平成18年度第2回出島処分場事業連絡調整協議会の概要
- ・出島地区港湾整備事業環境監視結果の概要
- ・周辺環境の事前調査結果について
- ・遮水シート材料試験結果
- ・出島地区環境監視資料

※ 担当事務局

広島県環境部環境対策局産業廃棄物対策室
TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)